

会 議 録

会議 名	令和 5 年度第 1 回小金井市市民協働推進委員会
事務局	市民部 コミュニティ文化課
開催日 時	令和 5 年 7 月 1 8 日（科） 1 8 時 3 0 分～ 2 0 時 3 0 分
開催場 所	市役所西庁舎 2 階 第 5 会議室
出席委 員	邦永洋子 副委員長 森田真希 委員 熊谷紀良 委員 西田 剛 委員
欠席委 員	田中敬文 委員長 橋本 修 委員
事務局 員	1 小金井市 コミュニティ文化課長 中川法子 コミュニティ文化係長 津端友佳理 コミュニティ文化課主任 武田麗子 コミュニティ文化課主事 佐原涼太 2 小金井市市民協働支援センター準備室 北脇 市民協働推進員 明石 市民協働推進員
傍聴の可 否	一部不可

傍聴不可・一部不可の場合は、その理由	一部不可 (協働事業提案制度に関する議題のため)	傍聴者数	0人
会議次第	(1) 人事異動について (2) 令和4年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況について (3) 協働事業提案制度について(審査) (4) その他		
会議結果	別紙のとおり		
会議要旨	別紙のとおり		
提出資料	(1) 令和4年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況 (2) 小金井市協働事業提案制度について (3) 小金井市協働事業提案制度市民協働推進委員会評点結果(1次審査)		

【邦永副委員長】 それでは、皆様、お暑い中、お集まりいただきまして、ありがとうございます。令和5年度第1回小金井市市民協働推進委員会を始めさせていただきます。

本日の会議は傍聴可能となっておりますが、協働事業提案制度に関する議題について

は非公開とさせていただきます。

それでは、まず配付資料の確認を事務局からお願いいたします。

【事務局】 本日、田中委員長と橋本委員から体調不良との御連絡があり、欠席となっております。

それでは、資料の確認をさせていただきます。

本日の会議資料は、次第を除いて3点となります。

資料1「令和4年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況」。

資料2「小金井市協働事業提案制度について」。

資料3「小金井市協働事業提案制度市民協働推進委員会評点結果（1次審査）」となります。

以上、お手元がない方、不備・不足等がございましたら、お申しつけください。

本日御持参いただいた提案書類一式と1次審査の評点票はお手元にございますか。足りないもの等がございましたら、予備がありますので、お申しつけください。

それでは、協働事業提案制度に関する審査書類につきましては、委員お一人1部のみの配付となります。

傍聴者の分はございませんので、御了承ください。

以上でございます。

【邦永副委員長】 資料の不足はなかったでしょうか。

それでは、議事を進めさせていただきます。

次第の順に行いたいと思います。「1 人事異動について」です。

事務局からお願いします。

【事務局】 事務局です。

事務局から人事異動及び今後の担当者について、御報告いたします。

自分で自分の紹介になりますが、4月1日付の人事異動により前任の河田課長に替わり、私、中川がコミュニティ文化課長に着任しております。よろしくお願いいたします。

それでは、令和5年度協働事業に関する業務を担当させていただくコミュニティ文化課の職員を紹介させていただきます。

係長の津端です。

【事務局】 津端です。よろしくお願いいたします。

【事務局】 主任の武田です。

【事務局】 武田です。昨年の4月から赴任ということで、お世話になっております。どうぞよろしくお願いいたします。

【事務局】 主事の佐原です。

【事務局】 佐原です。昨年に引き続き、よろしくお願いいたします。

【事務局】 また、本委員会に参加しております小金井市市民協働支援センター準備室も4月に異動がありましたので、紹介いたします。

【事務局】 明石と申します。よろしくお願いいたします。

【事務局】 昨年度まで協働事業を担当しておりました岡本係長は、4月1日付で異動となりましたことを併せて御報告いたします。

事務局からは以上になります。副委員長、お願いします。

【邦永副委員長】 ありがとうございます。これからよろしく願いいたします。

次第の「2 令和4年度小金井市市民協働支援センター準備室の活動状況について」
になります。

準備室から御報告をお願いいたします。

【事務局】 市民協働支援センター準備室の北脇と申します。

活動の状況について、報告いたします。

準備室は、平成20年2月策定の小金井市協働推進基本方針に基づいて、市民活動団体と行政、また、市民活動団体間の協働に関して、御覧の7業務を行っています。これらの業務について、令和4年度1年間分の報告をさせていただきます。

相談・コーディネートについてです。

相談内容としては、行政の担当の窓口を知りたいとか、市民活動団体リストに関すること、団体活動の運営や広報に関すること、そういったアドバイス・相談が延べ765件ありました。

主立ったものをトピックに挙げておりますが、たくさんありますので、幾つかかいつまんで簡単に説明いたします。

こども食堂の立ち上げで間もない団体から相談がありまして、具体的には子供たちへ情報を届けるためのチラシの作成のやり方、あと、記載しなくてはいけないポイントとか、ほかの支援団体とのつながりとか、そういった団体間の横のつながりをするための仲介、そういったこともさせていただきました。

ほかには、学校のスクールソーシャルワーカーさんから、中国語を母国語にしている子供に対しての支援ということで、関連団体への紹介依頼がありました。外国語支援をしている団体さんを紹介しまして、その後、中国語で専門性の高い、先進的なことができる大きな病院を紹介してもらったり、その次につながっていきました。

ほかには、いろいろな団体さんがおられますが、窓口では新団体の立ち上げの相談が物すごく多いです。重度障害児のお子さんを持つお母様から当事者団体とのつながりを求められまして、御紹介ができなかったのも、それだったら自分で起こしてみろということで御自身が立ち上げたり、あと、医療関係のお仕事をされていた方が定年退職で時間が空いたので、何かやってみたいというお話になって、お話をしていたら、とんとん拍子に健康講座とか、そういった啓発講座をしてみたいということで、厚労省の中でやってみるとか、そういった話につながっております。

これらの新規の立ち上がりの段階の支援を丁寧に行うと、その後の活動がスムーズに行き、活動の展開が広がっているなということを感じています。初期支援の重要性をここで実感しております。

次に行きます。情報収集の面では、毎年同じなんですが、協働支援センターの各紙面、各団体の広報紙などを集め、他市からの情報なども参考にさせていただいております。

また、他市などへ広報もしておりますが、こちらは協働推進委員会で何度か報告しておりますが、12月に福生市輝き市民サポートセンターを訪問させていただきました。団体支援の形を参考にさせていただいておりますが、例えば広報の仕方、SDGsと絡

めた団体の支援活動を演出していたり、大量に送られてくる情報紙をうまくまとめていたり、どうしたらエンドユーザーに届くかとか、市民の方に届くか、そういったことをとても工夫されていました。

次に多摩ボランティア・市民活動支援センターは1月に伺いました。3月の推進委員会で長めにお時間を取らせていただきまして、御説明いたしましたので、今回は割愛させていただきます。

ほかには、市内の団体さんにも訪問しております。ちょっと行きながら、立ち話はしているのですが、9月に遊パークさんに見学に行ったということで記録がありましたので、記載させていただきました。

次、情報の発信については「ぼらんていあこがねい」に準備室専用のページを設けておりまして、事業をPRしております。そこでは、助成金の紹介ですとか、団体のイベントや講座の情報、そういった団体の方が欲しがるだろうなというものをこちらで吟味して、掲載させていただいております。

ブログの閲覧数は、下の表のとおりになっております。月によってばらつきもあるんですが、コンスタントに見られているかなという所感です。

次に協働の推進に関しては、電話やメールでの問合せがとても多いです。一応ファックスもあるのですが、ファックスの相談はないです。やはり直接顔を見ながらお話を聞きたいという方が多くて、1回でも2回でも面談をすると、その後、メールであの件はこのことですかとか、あの件についてさらに知りたいんですけれどもという方が連絡をくださって、メールでやり取りすることが多く、次につながっている印象があります。

あとは、福祉NPO法人連絡会、推進委員会にも準備室として参加させていただいております。

団体リストです。10月1日に更新版をつくりまして、5団体の情報が変更になっております。

そのほか、行政への協力です。毎年、同じ感じにはなるんですが、大きなものとしては、協働提案事業として、今回はストリートピアノの手伝いをさせていただきました。

そのほかにも、公募団体さんが何団体かおられましたので、事前相談ですとか、あとは実施が決まったときの開催に関する相談とか、そういったものを随時行っておりまして、行政の協力という形のお手伝いをさせていただいております。

準備室からの1年間の報告は以上になります。

【邦永副委員長】 御報告ありがとうございました。

委員の皆様から質問はございませんでしょうか。どうぞ。

【熊谷委員】 今、説明していただいた内容は非常によく分かって、相談の状況等、様々な相談を受けていらっしゃるというのは、改めて感じています。

一つは、協働提案事業に関して仲介をしていらっしゃるということがあると思うんですけれども、今日も多分この後に出てくると思うんですが、実際に事業が決まった後の調整等もとても大事なことだと思うんですけれども、実際に協働提案に関して応募してみたいのだけれどもということや、応募するに当たってというところで御相談を受けているものがあるかどうかということです。

あと、内容によっては、ディスレクシアに関するお問合せがあって、今、活動してい

る団体も様々な中で、御自身が課題や悩みを持っていらして、自分たちで同じ仲間とながりたいということや、より多くの市民に知ってほしいということで、当事者の方自身が活動したいというようなことが他地区でも結構多く出ているんですけども、このお問合せといったものがそういったものに類似しているようなものなのか、また、もうちょっと違うということでしたら、個別のほうになってしまうんですけども、傾向として結構なので、御自身が自分で何かをしたいというお問合せになっているのか、その辺りを伺えたらと思います。

【邦永副委員長】 まず一つ目は、協働の提案事業の御相談、実際につながらないまでも、御相談があったのかどうかということです。それについてはいかがでしょうか。

【事務局】 準備室から協働提案の事前相談についての回答をさせていただきます。

こちらは実際に相談があります。市の助成金ですとか、社協としての助成金とかで、こういったものがありますということで一通りお話をさせていただく中で、やはり協働提案がとても魅力的に感じるようでして、どの団体さんも必ず一瞬考えて、この相談をしたいという方はとても多いです。

ただ、協働提案に行くまでにある程度団体さんに力をつけていただいて、次の段階でこちらに進みましょうという団体さんも何団体かいらっしゃるんですね。そういう方には、まずはこちらで一度やってみて、それでいい感じだったら、もうちょっと深くやりたいとか、行政と連携したいという課題が次に見えてくると思うので、見えてきたら、次のときにまた募集があるので、そこで手を挙げるのはどうですか、そこまで力をためて、ほかのところで練習ではないんですけども、小さなものを幾つかやってみましょ

う。そちらの伴走支援を喜んでさせていただいて、力がついた後に協働提案に行きましょうみたいな形の誘導が1シーズンで4団体さんぐらいあります。そのくらいの頻度です。

【邦永副委員長】 いかがですか。

【熊谷委員】 ありがとうございます。

もう一つのほうはどうでしょうか。

【事務局】 ディスレクシアの相談です。ディスレクシア講座は、社協のボラセンを窓口にしてやるんですが、ただ、最終的に当事者団体をつくりたいという話もありましたので、団体の伴走支援ということで、準備室もお手伝いさせていただいております。それに関する事で、窓口とか、講座の申込みに関連して、そのままお悩み相談みたいなお話があります。

ただ、実際に団体はまだ立ち上がっていないので、どなたかにつなげたり、そういったコーディネート役割はできていないのが現状です。

【邦永副委員長】 同じように、当事者の活動支援という形においての傾向はどうなんでしょうか。

【事務局】 ちょうど来週の月曜日に講座を終えた方たちの任意の集まりをつくりまして、交流会をするんですね。そこで私たちのお困り事というタイトルで茶話会みたいなものをしようと思っています。自分たちが当事者団体で困っている、いろいろと悩んでいることをみんなで共有しながら一緒に前に進もう、そのためにも親の会とか、当事者の会は必要だと思いませんかみたいな流れにして、当事者団体の発足につなげようか

と、今、計画している最中です。

【邦永副委員長】 傾向としては、そういう流れがあるということなんでしょうか。

【事務局】 うまくいけば、頑張ります。

【邦永副委員長】 ほかの皆さん、御意見、質問等はございますか。どうぞ。

【森田委員】 コロナ禍が少し落ち着いて、ちょっと活発になってきているんですか。

【事務局】 ちょうど今日、その質問をほかの職員がされたんですが、皆さんやはり動き出していて、外のイベントは感染対策をうたわずにやっているなということを感じます。

あと、コロナ後の変化としては、ハイブリッド開催をする団体が物すごく増えて、講座をやってもオンライン配信をしていたり、後で録画したものが見られたり、今までそういうことに手をつけなかった団体さんもやるようになりましたし、あとはお母さんの団体が夜の9時からZoomで会議とか、10時に会議とか、子供が完全に寝て絶対に起きてこない時間帯で、この前も10時から12時までやったというお話を聞いたり、そんな形でコロナ後の変化は聞いております。

【邦永副委員長】 総件数765件というのは、前年度と比べるとどうなんでしょうか。

【事務局】 すみません。こちらは職員が替わった関係で、カウントの仕方が少し違うところも出てくるんですが、重なっている部分もあります。総件数で延べになっているので、一つの相談で二つの種類が入ったりもしますので、実際の実数はこれではあり

ませんということをお伝えしておきます。

【森田委員】 実際、5月の連休が終わってから、うちも他県の議員さんの視察が本
当に相次ぎました。コロナで人との関わりというのがなく、よりそれが大事だといふこ
とを実感して、現場を見たいという人たちがいて、あしたもわざわざ沖縄から見えま
す。

【事務局】 去年のものがありません。カウントの仕方が違うんですが、表の中の合
計が1,218になっています。なので、それから見ると、数字的には減っているんで
すが、減っている様子は全くないです。どうしても相談は一つあったときに必ず1件と
いうカウントではなくて、いろいろな要素がありますので、その誤差だと思っていた
だけだと思います。

【邦永副委員長】 何を思っていたかというのと、主な相談・コーディネート案件がす
ごく多いと思って、前はそんなに出ていなかったような気がしていて、すごく多いと思
いました。頑張っていらっしゃるなと思いました。

ほかには大丈夫ですか。

それでは、御報告は以上となります。

続いて「3 協働事業提案制度について（審査）」になりますが、こちらは会議が非
公開となりますので、ここで一旦休憩を入れさせていただきます。御異議はございませ
んでしょうか。

（「異議なし」と声あり）

【邦永副委員長】 それでは、休憩といたします。

(休憩)

【邦永副委員長】 それでは、再開いたします。

「3 協働事業提案制度について（審査）」となります。

ただいまから、令和5年度実施協働事業提案制度の審査を行います。

本日は、協働事業提案制度の選考に関する議題となりますので、ここからは非公開として会議を行います。

ここから、協働事業提案制度の内容にかかるため非公開

— 了 —